

那須野が原バイオディーゼル流通システム実証事業

KBEサービス株式会社

地域循環型の構成



啓発活動、環境教育、食育

搾油作物の栽培、搾油
(大豆、菜の花、ひまわり)

学校給食、市民等での使用



廃食用油を原料
として供給



公共サービスの電力や
公共バス、デマンドタク
シーの燃料でのCO2削減



再精製を行い燃料化して供給、自動車
や、発電機のBDF燃料へ



超低騒音型 DCA-220LSI



課題項目、重点取り組み項目

現状のバイオディーゼルにおける世界的な市況については、隣国の韓国、中国においては軽油へのバイオディーゼル混合義務が進んでいる、ヨーロッパ、アメリカに至っては、20%の義務化が進められており今後、国内においても現在のB5の需要が見込まれる。その為今後の商品開発と原価の削減を行って行くことが課題となる。

原料確保におけるコストダウン

地方自治体と協力体制を強化し市民からの廃油回収、公共施設における廃油の回収を現在回収中の那須塩原市新規で、大田原市、那須町へ協力要請を行う。

製造設備移転並びに本社統合によるコストダウン

現況の弊社の製造設備は、代表者の前職である企業より購入し現在、茨城県に製造拠点を有しているが老朽化が進んでおり製造効率の悪化によるコストアップ、輸送コスト、賃借料金等が、コストの上昇につながる要因と考えられる事から、本社賃貸料を含め、統合移転する事でコストダウンを図る事が可能となる。

販売力の強化

販売先については、現在、那須塩原市、矢板市などの公用車で100%バイオディーゼル燃料を使用、販売しているが今後自動車エンジンの排ガス規制等の問題からB100での使用については自動車メーカーからの保証の問題から軽油混合燃料B5での使用に移行し増車が見込まれる、大田原市では、市バス等のB5使用 今後スクールバス等でもB5の使用を協議を行っている、那須塩原市については、デマンドバスでの使用を現在も行っているが先に挙げた自動車メーカーの保証の問題からB5に移行すると思われるその事から混合用の施設を従来の施設に加えて併設する事で販売強化が可能となる。

公共施設(防災拠点)に給油施設を設置する事で併設されたディーゼル発電機により、災害時における燃料、電源の確保を行う事も可能となり施設に関しては、独立電源にて発電した電力を使用する為発電機にて使用する燃料については、B100を使用する為バイオディーゼル燃料の利用推進が見込めます。